

# 令和3年度の大雨における医師会の被害・対応、現在の医師会の備え等について

事務局長 近村 美由紀

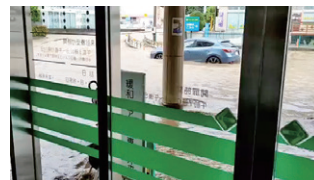
安芸高田市：人 口 27,126人  
 高齢化率 40.5% (9月現在)

## 安芸高田市医師会の紹介

- ・安芸高田市医師会
  - 会員 59人
  - 診療所 21
  - 総合病院 1人
  - 事務局 3人 (常勤換算2.5)
- ・安芸高田市医師会訪問看護ステーション
  - 看護師 10人 (常勤換算8)
  - 事務員 1人
  - 利用者数 130人
  - 月の延訪問件数 600回前後
- ・安芸高田市医師会居宅介護支援事業所
  - ケアマネ 2人
  - 利用者 62人



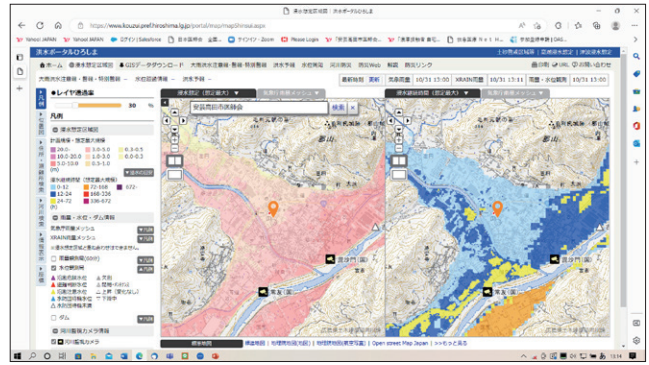
## JA吉田総合病院 浸水時の様子



## 吉田総合病院透析室







## 8月13日（金） 医師会の動き

- ・ 6時30分 職員に出勤は各自で判断、危険な場合は無理をしないことを伝える  
平時は通勤に15分のところ迂回しながら1時間かかって出勤する
- ・ 8時30分 パート職員に自宅待機を指示  
吉田・美土里線は通行止め  
本日の利用者の状況と訪問調整を指示
- ・ 9時～ 吉田総合病院…浸水のため診療の中止と連絡が入る
- ・ 9時25分 稲田橋から濁流が流れてくると声かけあり、P C・カルテ等を2階へ移動を始める  
本日のZ o o m会議の中止と吉田病院の状況を各先生へ電話連絡  
裏の駐車場にある用水路も氾濫するが、浸水は逃れる  
訪問看護・居宅の利用者でH O T中の方の避難要請、垂直避難
- ・ 10時 水が引き始める
- ・ 11時 訪問介護事業所より認知症の利用者の避難支援の要請あり
- ・ 昼～ 瓦礫等の片づけ 公用車の移動  
本日の訪問看護 定期訪問27件中8件訪問  
床下浸水被害 2件（1名避難）  
避難された方 2名  
訪問中止した利用者については担当ケアマネに報告
- ・ 職員 15名うち8名出勤、直行直帰1名  
自宅待機者3名 休暇3名
- ・ 15時 パート職員は帰宅するが通行止めのため帰ってくる  
ワクチン集団接種は8月13日～16日はお休み
- ・ 17時 ブレーカーを落とす  
迂回路を通り帰宅する
- ・ 19時 全員無事帰宅を確認

## 8月14日（土）～ 医師会の動き

- 8月14日（土）
- ・ 医師会館の状況確認
- ・ JA吉田総合病院へお見舞い伺い  
（向原～吉田線を利用、甲田周りは不通）  
吉田病院付近の54号線沿いにある商店や家屋では、浸水し瓦礫や土砂のかきだしをされている
- 8月16日（月）
- ・ P C設置 F A X接続（復旧に時間がかかった）訪問看護、居宅は平常運営
- 8月17日（火）
- ・ 13日の水害状況の報告と各診療所へ被害調査を実施

## 8月13日（金） J A 吉田総合病院の動き

- 浸水場所 本館1階（正面玄関、外来辺り）  
老健棟（透析センター、リハビリ室）  
別館1階（入院病棟）
- ・ 外来診療を休診、外来患者を南館に避難、透析実施を中断し避難
  - ・ 1階入院患者（36名）を老健施設2階に避難
  - ・ 1階エレベーター故障、救急受け入れ困難となる
  - ・ エレベーターが使用できないため、食事を職員が運ぶ
  - ・ 洪水の水位が引いた後、片付け並びに清掃を実施 ～22時
  - ・ 透析のスケジュールについて患者へ連絡、内服薬の確認の連絡

## 8月14日（土） J A 吉田総合病院の動き

- ・ 透析実施を再開（3クール）  
午前中 2クール 午後 1クール  
2名は通行止めにより他病院へ依頼する
- ・ 前日に引き続き、本館、老健棟の清掃と消毒を実施

## 8月15日（日）JA吉田総合病院の動き

- ・透析室消毒
- ・エレベーター1基のみ稼働回復
- ・救急受け入れを再開
- ・浸水被害箇所の清掃、病院周辺の散乱ゴミを回収
- ・月曜日（16日）から通常診療と判断

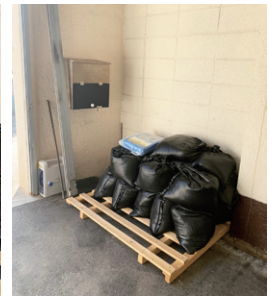
## 8月17日 医師会会員の被害状況報告

- ・診療への被害はなかったが、陸の孤島となり帰宅できなかった
- ・玄関のみ浸水、待合室や廊下までは浸水せず
- ・駐車場の砂利が流された
- ・八千代病院介護医療院、八千代クリニック建物への被害はなし
- ・病院前の山ののり面が崩れ、道を半分塞ぐが大きな被害はない
- ・吉田病院公用車と職員約400名中100名の車は浸水被害で廃車

## 平成25年広島県地域医療再生事業計画 災害時の救急医療体制整備事業での備え



- ・投光器
- ・救急医療セット
- ・酸素ボンベ
- ・血圧計
- ・点滴台
- ・簡易ベッド
- ・担架
- ・防寒着
- ・トリアージタック
- ・N95マスク
- ・フェースシールド
- ・防護服



## 災害に備えて看板を撤去



## 災害用備蓄リスト

品名	数量	単価	価格	購入日	使用期限
<b>【飲食料】</b>					
サバイバルフーズ バラエティセット6缶（60食相当）	5箱	16,571円	82,855円	2022年2月	25年(2047年)
水 2ℓ 12本	2箱	6,110円	12,220円	2022年2月	15年(2037年)
サーバー 12ℓ（常時 4本）					
<b>【その他】</b>					
非常用トイレ 携帯用12個入	2箱	1,199円	2,398円	2022年9月	
組立式トイレ	1	1,452円	1,452円	2022年9月	
水洗用100回分	1	6,980円	6,980円	2022年9月	15年(2037年)
土嚢20袋、設置パレット	1式	38,100円	38,100円	2022年6月	5~6年(2028年)
ブルーシート6畳	1枚	2,274円	2,274円	2021年9月	
ヘルメット	15個	1,368円	20,520円	2022年9月	
ランタン	1個	1,930円	1,930円	2022年9月	
軍手	80双	50円	4,000円	2022年9月	



# 訪問看護の契約時に災害時に備えての準備のお願いをしています

地震や台風、火災などの災害はいつ起こるかわかりません。ふだんから非常時に備え、防災用品を整えておく、各家庭で避難場所を決めておくなどの準備と心がまえが大切です。

1. 避難の役割を決めておきましょう
2. 火の始末と初期消火の方法
3. 避難場所を決めておく
4. 避難の連絡先と連絡方法
5. 食料などの準備と非常持出品の準備
6. 家具、危険物などの点検整備
7. 家のまわりの危険場所の点検・火災についての正しい知識


非常持出品をチェックしましょう。

貴重品	応急医薬品	照明器具
<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(できれば1人につき1つ)
<input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 権利証書など	<input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 結核薬など	
非常食品 (お切り、検査も忘れずに)	トランジスタラジオ	その他
<input type="checkbox"/> かん/シ	<input type="checkbox"/> 予備乾電池は多めに用意	<input type="checkbox"/> 身元の分かるもの <input type="checkbox"/> 下着
<input type="checkbox"/> 缶詰(火を通さず食べられるもの)	医療物品・医療機器	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 上着
<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 水筒		<input type="checkbox"/> カッパ <input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> ナイフ		<input type="checkbox"/> マッチやライター
		<input type="checkbox"/> はきもの <input type="checkbox"/> アルミシート

\*貴重品や現金は身につけて、荷物は背負えるようにして1箇所にまとめるように。

すべてのことを準備するのは難しいかもしれませんが、自分の飲んでいる薬など今一度チェックしてみましょう。すでに持ち出せるでしょうか？  
避難後の体調管理も重要ですので、忘れず持ち出せるよう準備しておきましょう。

- \*お薬手帳も忘れず準備しておきましょう
- \*自分の飲んでいる薬 保管場所
- \*避難場所、避難を手伝ってくれる人の確認
- \*吸引器や在宅酸素療法をされている方などは停電時なども想定して、対処方法を確認しておきましょう。



安芸高田市医師会訪問看護センター

### 携帯必需品リスト

- 人工呼吸
- 呼吸器の回路(人工鼻、フィルターなど)
- アンビユーパック
- 吸引器
- 吸痰チューブ
- 滅菌精製水
- 消毒用アルコール綿
- バッテリー、発電機などの電源
- 経管栄養剤(リコール、エンシアリッド、ワイソイ、L-7、 )
- 経管栄養チューブ
- 交換用の気管内チューブ、口腔相チューブ、胃腸チューブ
- ストマ器具
- Yガーゼ
- 常備薬、お薬手帳
- 紙おむつ
- プラスチック手袋(つかいすてゴム手袋)
- 携帯電話、充電アダプター、手動充電器
- パルスオキシメーター
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 家用用車のシガーライターケーブル、延長コード
- 現金、印鑑、通帳、保険証、カードなど

## 災害マトリックス

### 緊急段階 (命を守る)

救命・救済活動・直接&拡大被害

【個人】

- ・経過レベルに応じた対応を決める
- ・自分の命、家族の命を守る
- ・安全な場所へ移動、連絡方法決めておく
- ・停電でも使えるラジオ、照明の確保

【看護師として】

- ・早めの避難を促す 内服の確保
- ・被害状況の確認、けがや被災状況の確認
- ・利用者への対応、健康状態の観察、指示
- ・安全を確保したうえでの支援を行う
- ・在宅への支援
- ・避難所への支援
- ・必要に応じて入院・施設入所の手配

【留意点】

- ・ガスの元栓締める
- ・停電したらスイッチを切ってプラグを抜く
- ・避難する時はブレーカーを切る

### 緊急段階 (生活を守る)

救命・救済活動予防段階

【個人】

- ・被害状況の確認 (危険を冒さない)
- ・3日間生活ができる備蓄
- ・避難所へ情報収集
- ・近隣との支え合い
- ・SOSの発信

【看護師として】

- ・安全確保＝身体的、精神的(助言支援)
- ・他職種との連携、情報交換
- ・ニーズの把握
- ・感染防止
- ・必要時、医療、福祉につなぐ

【留意点】

- ・二次災害防止 火事

### 応急段階 避難所生活支援

【個人】

- ・食事、睡眠、排泄状態の確認と確保
- ・安全確保
- ・感染に注意 (食中毒、インフルエンザ等)
- ・健康管理
- ・水分補給
- ・保温のための毛布
- ・移動手段的確保…ガソリン

【看護師として】

- ・健康管理
- ・困りごと相談
- ・医療的支援者の把握、必要に応じて施設へ繋ぐ
- ・状況に応じ、医療・福祉・保健に繋ぐ
- ・話を聞く

### 防災対策

- ・用水路や居住周囲の管理
- ・防災訓練と研修
- ・平時からの情報交換、周囲との情報共有
- ・平時の準備 (食料、水等の備蓄)
- ・災害時持出荷物の作成と定期確認
- ・利用者への防災について考えてもらう機会を設ける。  
(年に1~2回)
- ・独居者、医療依存者の把握

### 安芸高田市で起こりうる災害

- ・地震
- ・大雨・台風
- ・火災

↓

- ・土砂災害(かけ崩れ、土石流、地すべり)
- ・洪水、浸水
- ・堤、ダムの決壊
- ・河川の氾濫
- ・火事
- ・大雪

### 応急段階 住宅確保支援

- ・健康状況の確認及び必要な支援
- ・食事、睡眠、排泄譲許の確認と確保
- ・情報収集
- ・ブルーシート
- ・土のうなどの手配
- ・1人暮らし、老々介護、認認介護の方への声掛け
- ・医療的支援者の把握、必要に応じて施設へ繋ぐ、連携をとる
- ・状況に応じ、医療・福祉・保健に繋ぐ
- ・地域の助け合い

### 減災対策

#### 防災まちづくり

- ・ハザードマップ作成
- ・地域の危険区域の把握
- ・近所住民との交流
- ・用水路、河川周囲の整備

### 災害関連死をつくらない

- ・感染予防
- ・同一体位をとらない
- ・地域の助け合い
- ・見守り、声掛け
- ・出向く場所作り
- ・1人で動けない人の把握
- ・ストレス支援
- ・中長期支援

### 生活の場確保

- ・安定した生活への支援
- ・日常生活用品の確保
- ・避難所の確認
- ・健康状況

## ○今後の災害対策として

- ・連絡網
- ・先生方にも意識していただき、被害状況の発信をお願いする
- ・横との連絡
- ・災害時優先電話の申し込みについて



山口県医師様からのご依頼をいただいたことで、こうして当時は振り返り資料をまとめることができました。  
また、備えについても進めていくことができました。  
安芸高田市内の医療機関・介護事業所・施設へ情報提供を行い、一緒に災害をどう乗り切るか考える機会を設けられたらと思います。